

令和4年(2022年)東京朝顔研究会 大輪朝顔栽培講習会 ＜切込み作り 子蔓三本仕立て＞ 第2回 資料

東京朝顔研究会 窪田顕子

切込み作り品種の種蒔きから10日～2週間ほど経ちました。ちょうど本葉が出てきた頃と思います。切込み作り子蔓三本仕立てでは、本葉3・4・5枚目から伸びる子蔓3本を仕立てていきます。花・葉・鉢を含めた全体のバランスの取れた花姿、「葉小花大」を目指してこれからの栽培を進めていきましょう。

1. 本鉢移植まで：小鉢期（☞手引き p.42～45） 水分過多にならないよう、節水につとめます。…色彩花と無地花では小鉢上げ日が異なるため、しばらくの間別メニューで細かく管理

- (1) 毎日水を与えます。晴れた日は朝9時頃水を20～30mL与える。このとき、微温湯や風呂の残り湯などをかけると良い。冷たい水は避けたい。…与える量は、鉢底から水が落ちるか落ちないか、夕方には表面が乾いている程度。1日に与える量は、多くても小鉢期初期は30mL、小鉢期後期には60mL。曇りの日は晴れた日の半分量程度で。
- (2) 小鉢移植後1週間ほどで本葉が出始める。水の代わりに、液肥を1回与える。…ハイポネックス青(6-10-5)を2000倍希釈したものを30mL程度。
- (3) 以後、本葉が1枚増えるタイミングを目安に、ハイポネックス青2000倍希釈と着蕾用のハイポネックス開花促進(0-6-4)2000倍希釈の混合液肥を1週間に1回程度水の代わりに与える。小鉢期後期には1500倍～1000倍希釈程度の幾分濃い液肥を与える。
- (4) 晴れて高温になると葉が大きく萎れることがある。見極めが難しいが、場合によっては午後2時～3時頃までを目安に水を少量追加する。
- (5) 夏至(6月21日)の頃、**短日処理**を行うと着蕾が促進されるが、必ずしも必要ではない。
(☞手引き p.34)

(6) 6月末頃、本葉6～7枚になった頃合いで本鉢へ移植します。軸元を軽くつまんで持ち上げてみて、根が鉢全体に張り巡らされた状態(根鉢)であれば移植のタイミングです。根張りが十分でない場合はもう2～3日待ちましょう。

☞青葉の品種を切込み作りに仕立てる場合は、根を充実させるため移植を少し遅らせませす。

＜参考＞



根張りもうひと息



根張りますます。移植へ

2. 本鉢移植の準備

鉢 黒釉香炉鉢 5号を使用 …伝市窯など

培養土の準備 小鉢・切込み作り本鉢用は共通のものを使用しています。

自作の場合

例 腐葉土：赤玉土（小粒）：軽石（小粒）：もみ殻燻炭＝3：3：3：1

（他、手引き p.47 参照）

※もみ殻燻炭以外はふるいにかけて、微塵を取り除いたものを用意し、配合しておく。
元肥は控える。

※※5号鉢 10鉢あたりの必要量の目安は 約 10L

その他必要なもの

鉢底ネット、鉢底石（中粒の軽石などでもよい）、発根促進剤（メネデール）、殺虫剤（オルトラン粒剤など）、肥料（ようりん、固形肥料）

3. 本鉢移植の手順（☞手引き p.45～46）

- (1) 黒香炉鉢の鉢底穴にネットを置く。
- (2) 鉢底石を 2cm 程度の厚さに敷き、その上に培養土を鉢底石が隠れる程度に敷く。
- (3) 小鉢から苗を抜く。苗の軸を人差し指と中指で挟み、小鉢を逆さにして、他方の手の指で小鉢の底穴から押して苗を抜く。
- (4) 苗の双葉のつけ根が本鉢の縁と同じ高さになるように、小鉢から抜いた苗を鉢の中央に据える。
- (5) 苗の周りに培養土を入れ、鉢を軽くたたいて土を落ち着かせる。
- (6) 微温のメネデール 100～200 倍希釈液を、鉢底から流れ出るくらいたっぷりと灌水する。
- (7) 培養土の上にオルトラン粒剤少々、ようりん 1 つまみ（入手できれば亜リン酸一つまみ）、固形肥料 2 個を置き肥する。

※直射日光の当たらない場所で作業をしましょう（午後が望ましい）。



昨年は 7 月 3 日に切込み作り本鉢移植を行ないましたが、苗の育ち具合は気候により変わります。仕事の予定などを勘案して日程を決めましょう。

4. 本鉢定植後の管理 (☞手引き p.46~47, 52~53, 69~70)

鉢回し 根が偏らないよう定期的に鉢の向きを変えましょう。

殺菌殺虫剤散布

1週間に1回程度、定期的に殺虫殺菌剤を散布します。

- ・アブラムシ対策：オルトラン粒剤など
- ・ハダニ、ホコリダニ対策：ベニカ X ネクストスプレー、コロマイト、ピラニカなど
- ・殺菌剤：ダコニール 1000, トップジン M など

※使用回数, 希釈倍率等, 使用方法を誤らないよう注意します。

水やりと水肥やり

(1) 定植後 2 日間は水も水肥も不要です。

(2) 定植 3, 4 日目から混合液肥を撒きます。

・7月3日頃~10日まで…ハイポ（青）1000倍とハイポ（開花促進）500倍 100mL

・7月11日~18日まで…ハイポ（青）750倍とハイポ（開花促進）750倍 朝/昼 150mL

降雨時にも、施肥をします。

希釈例	1000倍希釈液	水 1L に肥料液 1mL
	500倍希釈液	水 1L に肥料液 2mL
	750倍希釈液	水 1L に肥料液約 1.3mL (肥料液 1mL を水 750mL で希釈)
	⇒750倍希釈液を作りたいときは、500倍希釈液をさらに 1.5倍希釈してもよい。	

(3) 開花日の約 10 日前で肥料は打ち切ります。固形肥料も取り除きます。

→7月19日からは水をたくさん与えます。朝・昼・15時の3回撒きます。(200mL×3回目安)

☞肥料分が鉢に残っていると、花卉が切れてしまったり、「肥料あたり」と呼ばれる花卉の不具合が出てしまいます。

<参考>

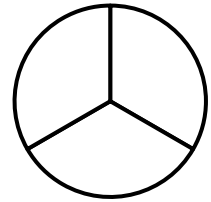
灌水に適した時間に在宅できるとは限りません。時間を繰り上げて灌水したり、それが難しい場合は自動灌水器を利用するのも一考です。市販のものもありますが、風呂水ポンプとタイマーを組合わせて自作することもできます。

摘芯について

本蔓：本葉 10 枚目が展開したら、9 枚目までの葉を残し芽を摘みます（仮摘芯。7 月 5 日前後）。その後、1 日おきに 9 枚目、8 枚目を摘芯し、7 月 10 日頃に 7 枚目を切り取り、本葉 6 枚目が残るようにします。…本蔓の本摘芯 本葉 6 枚目ならびに 1 枚目と 2 枚目の脇芽は切り取ります。

☞ **本葉 6 枚目は「肥吸葉」と呼ばれ、本蔓の肥吸葉には残した本葉 3・4・5 枚目から出る 3 本の子蔓に均等に養分を行き渡らせる役目があります。根から上がってきた養分が留まるため、葉が少し大きくなります。**

子蔓：本蔓の摘芯後に本葉 3・4・5 枚目から出た子蔓を伸ばして 3 本仕立てにします。鉢を上から見たときに 120° の 3 方向に子蔓が伸びていくと、太陽光が均等に当たるため理想的。子蔓が鉢の縁を出たら、鉢縁から出ている子蔓の先端を摘みます（仮摘芯。7 月 20 日頃）。その後、蕾の大きさ等を見計らって子蔓 5 枚目の葉を切り取り、子蔓 4 枚目の葉を残し肥吸葉とします。…子蔓の本摘芯

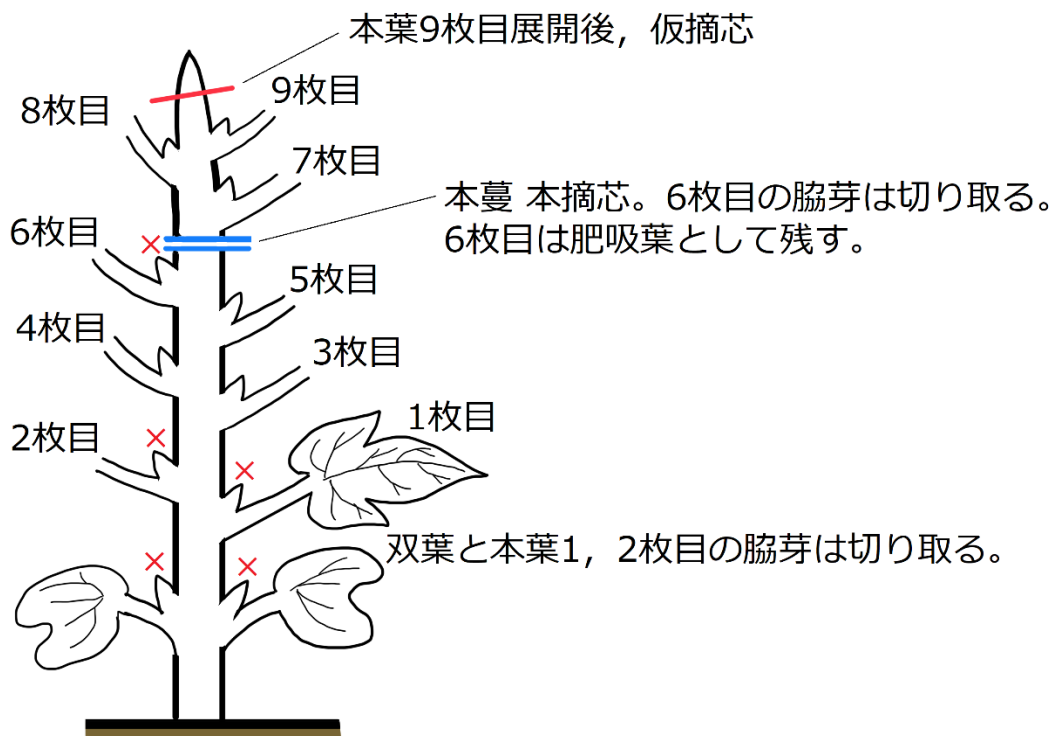


理想的な子蔓の方向

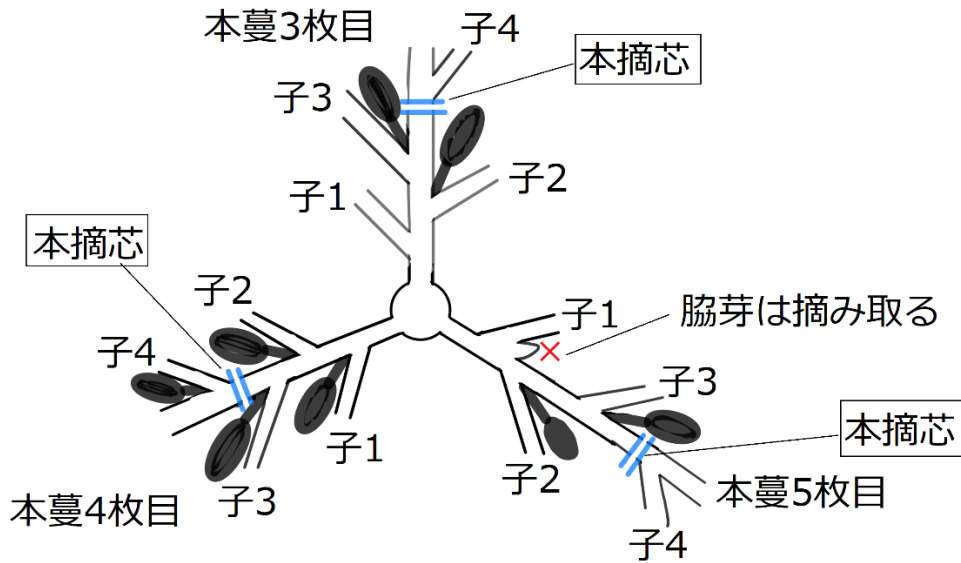
蕾の選定：1 本の子蔓に蕾を 2 個ずつつけると 3 本の子蔓で合計 6 個の蕾がつき、花の大きさと開花数のバランスが取れる。子蔓 4 枚目の蕾は「鉢こぼれ」になるため、切り取ります。

☞ **蕾が確認できてから 18~20 日後に開花とされています。7 月 8 日から 16 日に確認できた蕾がちょうど展示会の会期中に開花する計算になります。**

本蔓の摘芯



子蔓の摘芯



5. 展示会出品に向けて

子蔓の誘導

針金を U 字形に曲げたものを作り，蔓を押さえて形を整える。(☞手引き p.51)

殺菌殺虫剤散布

☞ 展示会搬入日の前日または前々日には必ず散布しましょう。

水苔張り

梅雨が明けたら，土の表面に水苔を張り保水をする。

暑さ対策

鉢の縁をアルミホイルで覆う。晴天高温で鉢が熱くなる場合，二重鉢などの対処を。

肥吸葉

- ・ 本蔓 6 枚目の肥吸葉は最終的に切り取りますが，展示会に搬入してからでも間に合います。
- ・ 子蔓 4 枚目の肥吸葉も，子蔓 3 枚目の葉が「受け葉*」になるよう切り取ります。
- * 受け葉… 開花時に花を下から支える役割を果たす。

- ・ 天気予報の情報収集を小まめに行い，天候の急変には鉢を避難させるなど極力対処したい。

—— 展示会に出品してみませんか？ ——

- 日比谷公園超大輪朝顔展が7月28日～8月3日まで開催。1鉢でも良いですので、展示会に出品してみませんか？
- お手本となる名人の鉢を近くで見るとは何よりも勉強になります。
- 名人や先生方、先輩方から水撒きや手入れの指導を受けることができます。



展示会のための打合せ会

7月17日（日）13:30～16:00 文京シビックセンター4階シルバー会議室にて

6. 展示会が終わったら

「種が基本」です。

自宅の作り場で種取りをしてみよう。良い形質をもつ遺伝子を来年もまた花咲かせましょう！